

< プログラム >

1・♪二上り六段 唯是震一 編曲
 三弦 永市雅祥
 尺八 島津溪山
 原曲は、俗箏の始祖・箏の名手 八橋檢校作曲
 三弦・本調子で作曲された「六段の調べ」を二上り調子に編曲したものと
 箏・尺八共にD(宍越)で合奏が出来る。

2・♪遠 砧 宮城道雄 作曲
 尺八 瀬良達山 作歌者 磯部艶子
 三弦 河上清美 歌詞 照る月に野末のわらや ほの見える
 箏 一色雅妙 風につれくる 衣うつこえ
 吹きおくる 風のまにまに 遠くなり
 近く聞こえて うつ砧かな
 面白や たが手すさびに 唐衣
 さやけき 夜半の月に うつらん

3・♪菊の詩 菊重精峰 作曲
 尺八 島津溪山
 三弦 I 永市雅祥・
 三弦 II 一色雅妙
 三弦の古典的手法を取り入れた三弦二重奏曲に
 尺八の音色が彩りをそえています。

4・♪ピョンピョコリン 宮城道雄 作曲
 ♪さくら舞曲・荒城の月 大月宗明 作曲
 尺八 木村空山
 箏 I 二神都裕貴・大家紗智子・一色樹・越智真里子
 箏 II 越智雅夕・永市雅祥・一色皐
 宮城道雄作曲・童謡曲集の中のピョンピョコリンです。
 さくら、荒城の月のメロディーによる箏、尺八による三部合奏曲。
 美しい日本の心を奏しています。



5・♪千鳥の曲 二世吉沢檢校 作曲
 尺八 平塚昌山 作歌者 前唄・説人知らず (古今和歌集)
 三弦 河上清美 後唄・源 兼 昌 (金葉和歌集)
 箏 一色雅妙 歌詞 しほの山 さしでの磯にすむ千鳥
 君が御代をば 八千代とぞなく
 淡路島 かよふ千鳥のなく声に
 幾夜寝さぬめ 須磨の関守

6・♪松籟譜 中島雅楽之都 箏・作曲
 箏 越智雅夕・二神都裕貴 唯是震一 三弦・作曲
 尺八 永市雅祥
 尺八 瀬良達山・平塚昌山・木村空山
 古代から東洋では松に吹く風を、波濤の音に例え「松籟」と呼びます。
 「箏の音に 峯の松風通りなり 何れの緒より 調べそめけん」
 中島雅楽之都によって、箏、六段の調べと合奏できるよう作曲され
 後に唯是震一によって三弦・尺八を加え合奏できるよう作曲された。
 この曲は対位法によって作曲された奥深い合奏曲である。

7・♪本曲 朝の海 流祖 中尾都山 作曲
 I部 島津溪山・木村空山
 II部 瀬良達山・平塚昌山
 戦後間もなく北陸を旅した流祖が福井県三国港に足をとどめた時、
 朝日を背にして網を引く漁夫の力強い姿に心惹かれ、暁の波間に昇る
 陽光、浜辺の活況を尺八二部合奏で表現している。

8・♪棚田の里 宮田耕八郎 作曲
 箏 越智雅夕・二神都裕貴・一色皐・一色樹
 大木元都陽・大家紗智子・越智真里子
 三弦 一色雅妙・永市雅祥・河上清美
 尺八 島津溪山・瀬良達山・木村空山・平塚昌山
 棚田は人々の智恵と技術と努力の結晶。
 棚田は山の水を蓄え、山を守り、国土を守り、人々の心を結びます。
 山の斜面に田を作った人々の困難は我々の想像を絶するものでしょう
 今新たな生きようとする棚田にこの曲を送ります。 作曲者



第2回 糸竹・独奏勉強会

令和元年9月22日(日)
 13:30 開演
 西条市丹原文化会館 小ホール



〒799-1345 西条市明理川137番地
 邦楽アンサンブル 西条
 主宰 一色雅妙
 携帯 090-1008-1958
 TEL 0898-65-5256 FAX 0898-35-5286



私たちが、受付しました。

ポスター